

1 6  
- 3  
3

(表紙)

安政五年午十月吉日

大年寄役御請御札控

大谷九右衛門勝廣

2 (白紙)

3

御月番権兵衛様より左之通被仰付候事

上書御用

吉三郎殿 権兵衛

十月五日

一 御用向有之候間大谷九右衛門同道二而

只今之内拙者宅迄出勤可有之事

即刻袴羽織着用致シ吉三郎同道

罷出候所左之通御書出シ被仰付候事

4

大谷九右衛門

其方義此度町年寄役

被仰付候間万事心を付

出精相勤可申旨被

仰出候

5

右之通被仰付御請申上即刻

吉三郎同道左之御方々へ御礼罷出

候事 但袴羽織着用之事

一 御老役 村河与一右衛門様

御長臣

御老役 村瀬勘右衛門様

一 同 日置九左衛門様

同 日置左内様

大目附

一 御町奉行 山内甚蔵様

澤群右衛門様

7





一 御着引替札三匁  
一 右同断

伊木様下代 安藤与一郎殿  
沢様下代 山本弁之助様

1 3

一 三本入扇子壺箱  
一 右同断  
一 右同断  
一 二本入扇子壺箱  
一 右同断

御筆頭 荒尾義太夫様  
同 山内源三郎様  
大目附 加藤弥太郎様  
御町目付 佐々木恵助殿  
同 松本伊兵衛殿

1 4

右之通午十月八日音物差出同日麻上下

着用 二而 御礼 二 罷出候事

但

御筆頭大目付御町目附并御下目付

右御方々へハ袴羽織 二而 罷出候事

付り 御老役大目付御町奉行丈ハ同役

袴羽織 二而 同道被為下旧例 ニ 候所此度

私老人罷出候事

1 5

一 十月十五日鳥府表へ御請御礼飛脚差立文言

音物左之通

一 御添書御町奉行所へ相願

一筆奉啓上仕候

御上様益御機嫌宜被為遊

御座恐悦至極奉存候、今般私義

町年寄役被為仰付冥加至極難有

仕合奉存候、隨而右御請御礼申上度

乍恐以飛脚鰹節一折二十奉獻上度

奉存候、御序之刻宜様御執成被遊

可被下奉願上候、恐惶謹言

1 6

音物左之通

一 御添書御町奉行所へ相願

一筆奉啓上仕候

御上様益御機嫌宜被為遊

御座恐悦至極奉存候、今般私義

町年寄役被為仰付冥加至極難有

仕合奉存候、隨而右御請御礼申上度

乍恐以飛脚鰹節一折二十奉獻上度

奉存候、御序之刻宜様御執成被遊

可被下奉願上候、恐惶謹言

1 7

大谷九右衛門

勝廣 (花押)

(貼紙)

「二月廿八日」

九右衛門様

元衛様

延之進様」

(貼紙下)

「十月十五日

惣右衛門様

金右衛門様

辰三郎様

織衛様」

内無苗  
封片苗  
箱片苗

18

右同文

献上鰹節一折二十

宛右御四人様

一筆啓上候、先以益

御機嫌能被遊御座恐悦奉存候

今般私義町年寄役被為

仰付難有仕合奉存候、隨而右御請

19

御礼申上度以飛脚御一品御着

奉進上候、尚奉期後喜之時候

恐惶謹言

上村惣左衛門様

格通

寺嶋金左衛門様

御一品御着

上村辰三郎様

金百疋ツヽ

寺嶋織衛様

内無苗封片苗箱片苗

20

一筆奉啓上候、先以益

御機嫌能被遊御座恐悦奉存候

今般私義町年寄役被為

仰付難有仕合奉存候、隨而右御請

御礼申上度以飛脚御樽肴奉

進上候、尚奉期後喜之時候、恐惶

謹言

2 1

御目付

松岡甚作様

鰹節一連引替

札四匁

御用達

牛尾九郎右衛門様

札八匁ツヽ、

田邊束様

御樽肴引替

同 馬渕平大夫様

但格通

同 草野三造様

御裏判

松尾範造様

2 2

内片苗封箱共諸苗

一筆啓上仕候、先以弥

御堅勝被成御座目出度奉存候

然者私義町年寄役被

仰付御札飛脚差立候<sub>二付</sub>

乍惶少御肴進上仕候、右得

御意度如斯御座候、恐惶謹言

村山惣人様

御肴引替

嶋渕光三郎様

武匁

2 3 (白紙)

2 4 (白紙)